

movie&slide player 利用ヘルプ

movie&slide player(以降 msp)Ver.1.0 利用ヘルプ

movie&slide player 利用ヘルプ	1
1.概要.....	2
2.特徴.....	2
シンプルなシステム	2
シンプルなインターフェース.....	2
簡単な作成方法.....	2
視聴も簡単.....	2
3.システムのファイル構成.....	3
4.画面の見方と操作方法	3
画面の見方	3
操作方法.....	4
5.作成方法	5
構成を練る	5
必要な素材を揃える。	5
登録・公開する。	6
6.ヒント.....	7
7.連絡先.....	8

1.概要

msh は誰でも簡単に動画とスライドを合わせた密度の高いコンテンツを Web 上で展開できることを目的に制作したフリーのシステムです。e-Learning コンテンツなどの作成に最適です。Macromedia Flash 8 を利用して作成しています。

msh はどなたでも利用していただくことができます。

2.特徴

msh の特徴は全てが簡単であることです。詳しくは次のとおりです。

シンプルなシステム

複数のメディアを扱う同様のシステムの多くは専用のサーバやシステムが必要で、専門の知識を持った人がいないと導入できないものが多いですが、msh は Web スペースと FlashPlayer と FLV エンコーダさえあれば誰でも簡単に利用できます。

シンプルなインターフェース

動画とスライドとナビゲーション用バーしかないシンプルな構成は誰でも迷うことなく操作することができます。

簡単な作成方法

例えばデジタルカメラとパワーポイントさえ持っていれば、デジタルカメラで撮った映像を FLV に、パワーポイントで作ったスライドを画像 (jpg) に変換し、専用のフォルダに保存して見せたい順番にリストテキストに列記するだけでプレゼンテーションが作れます。

*パワーポイントのアニメーション機能には対応していません。

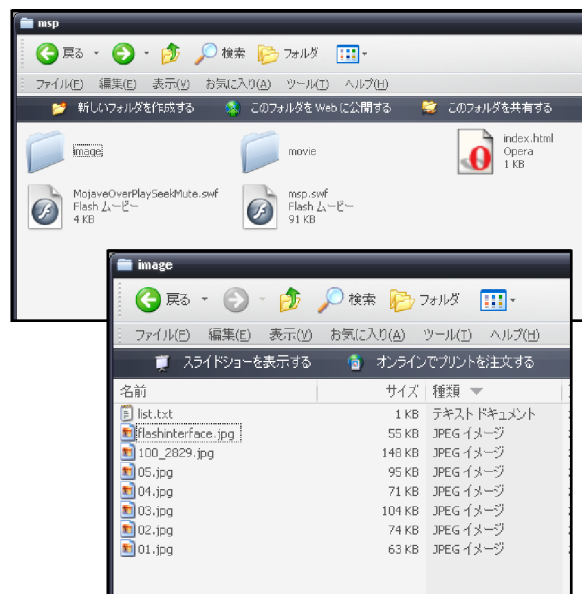
視聴も簡単

Adobe Flash Player に対応しており、Adobe Flash Player 8.0 がインストールされているブラウザがあればどんな環境でも視聴できます。特定の OS やブラウザだけに縛られたりはしません。

3.システムのファイル構成

ダウンロードした msp の zip フォルダの内容は次のようになっています(ReadMe を除きます)。

- msp.swf
システムの本体
- MojaveOverPlaySeekMute.swf
システムのビデオコントロール部のスキン
- index.html
msp.swf を表示する HTML
- image フォルダ
画像を保存するフォルダ
- movie フォルダ
ビデオを保存するフォルダ
- 各フォルダ内の list.txt
ビデオとスライドを登録するテキスト
- その他素材
練習用にどうぞ。

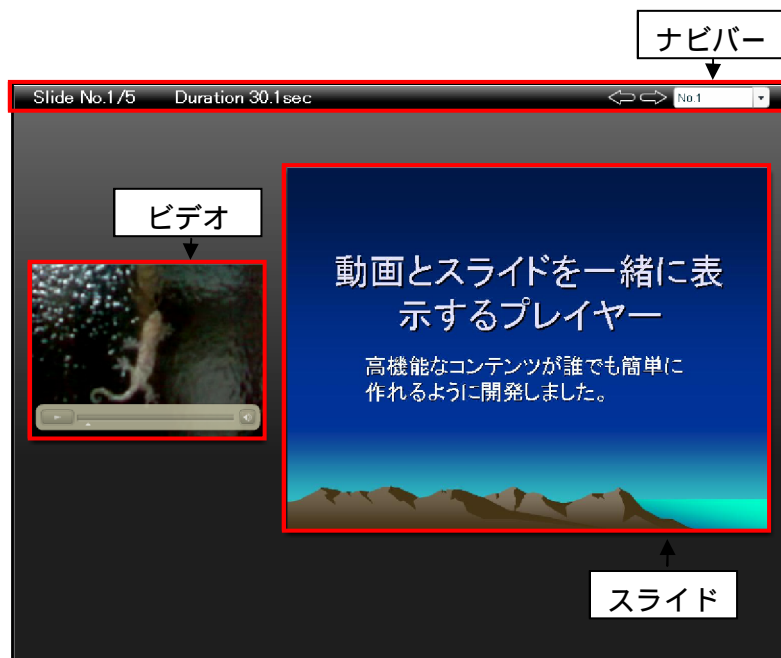


4.画面の見方と操作方法

画面の見方

Flash 上部のバーをナビゲーションバー(以下ナビバー)、動画部分をビデオウィンドウ(以下ビデオ)スライド部分をスライドウィンドウ(以下スライド)といいます。

ナビバーの左側には現在のページナンバーと動画の時間(秒単位)が記されています。



操作方法

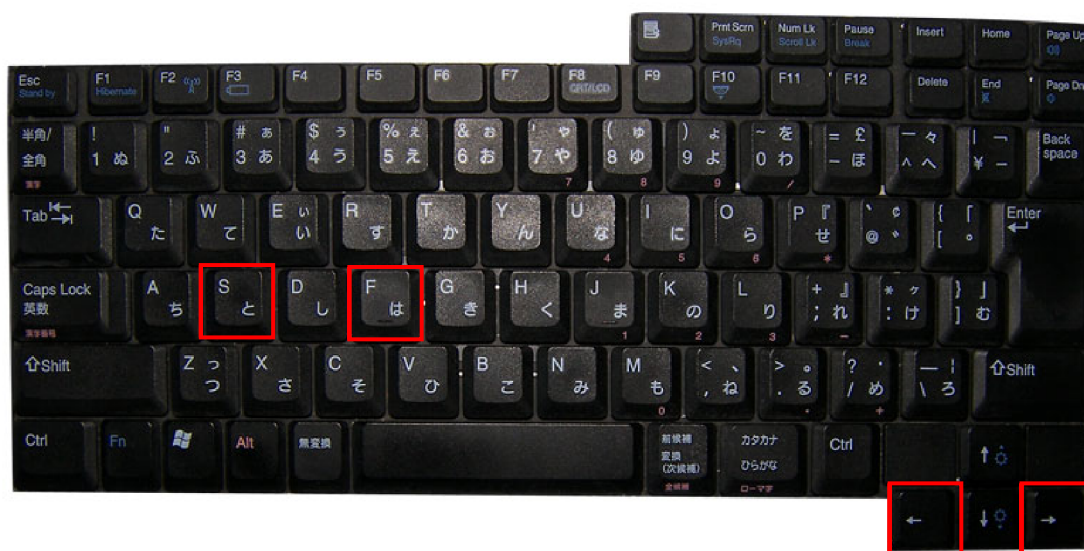
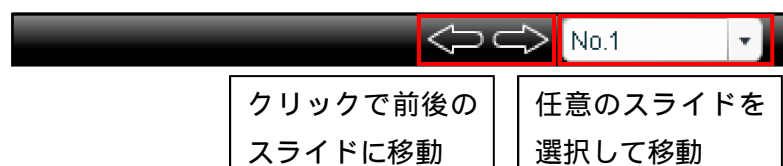
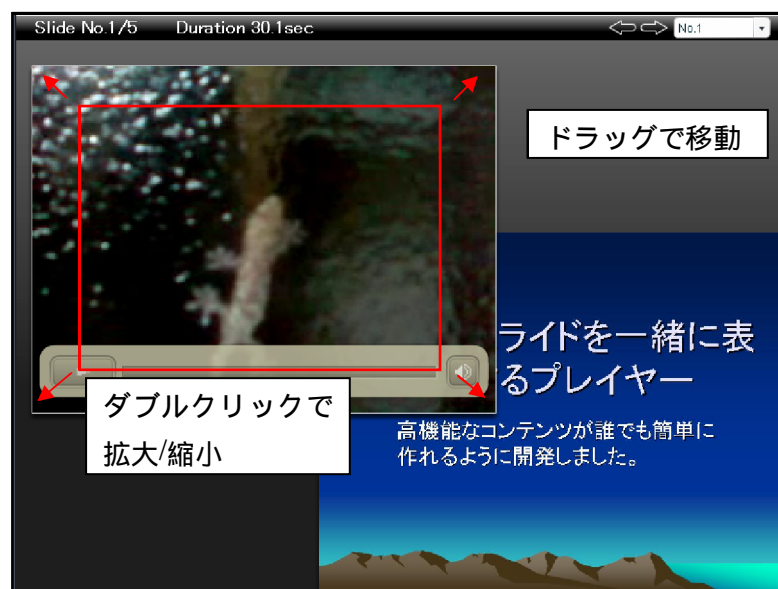
ビデオとスライドはマウスでドラッグ&ドロップすることにより好きな位置に移動させることができます。また、クリックしたほうを前面に移動させます。それぞれダブルクリックすることにより拡大/縮小することもできます。

ナビバーの右側の左右のボタンはそれぞれクリックすることによりページを前後に移動させます。左で一つ前、右で一つ後です。最初のページで左、最後のページで右をクリックすると、それぞれ最後のページ、最初のページに移動します。

右端のコンボボックスにはページ分のリストが格納されています。任意のナンバーを選択することでそのページに移動できます。

ビデオ、スライドの拡大/縮小、ページの移動は次のとおりにキーボードでコントロールすることも可能です。

- ・ キーボードの「f」：ビデオの拡大/縮小
- ・ キーボードの「s」：スライドの拡大/縮小
- ・ キーボードの「←」：一つ前のページに移動
- ・ キーボードの「→」：一つ後のページに移動



5.作成方法

ここでは市販のデジタルカメラと Microsoft PowerPoint を使った場合で説明します。

構成を練る

どのようなコンテンツにするか考えましょう。msp はビデオ・スライドそれぞれの大きさを利用者の任意で簡単に変更できるので、スライドの内容をビデオで解説するスライドメインのコンテンツ、ビデオの内容をスライドの文字で紹介するビデオメインのコンテンツどちらの形のものでも作成できます。またそれぞれをスライドごとに使い分けることも可能です。

必要な素材を揃える。

必要な素材を揃えましょう。

A) デジタルカメラで動画を撮る。

デジタルカメラで動画を撮影します。撮影後、必要であれば別途編集ソフトウェアで編集を施してください。

B) 動画をエンコードする。

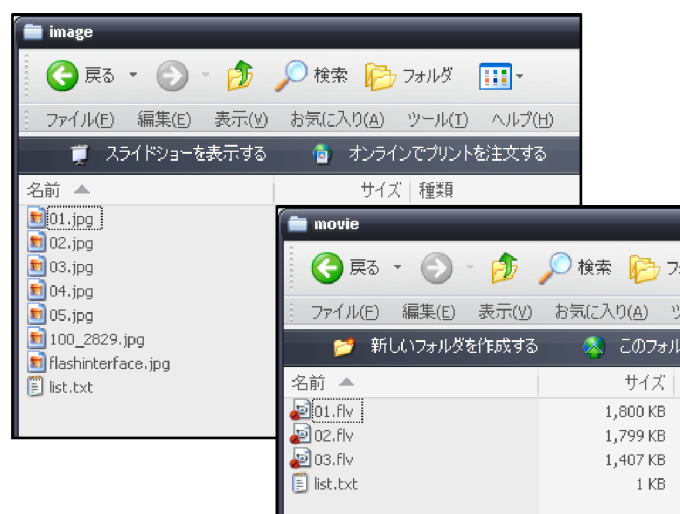
無料の FLV エンコーダなど使って動画の形式を FLV に変更します。エンコードの方法は各エンコーダの使い方を参照してください。

C) スライドを作る。

PowerPoint でスライドを作ります。msp はアニメーションには対応していません。簡潔なものにしましょう。スライドが全て完成したら保存形式に「JPEG 形式」を選択して全てのスライドを JPEG 形式(.jpg ファイル)で保存してください。

D) flv.jpg をそれぞれ保存する。

a から c で完成した動画(fl v)とスライド(jpg)をそれぞれ動画は「movie」フォルダ、スライドはjpg は「image」フォルダに保存してください。また、保存時の名称は全て半角英数字を使ったものに变更してください。



登録・公開する。

素材が全て揃ったら登録・公開しましょう。

A) 登録する。

movie、image フォルダそれぞれの下にある list.txt ファイルを開いて「movie=」「image=」の後に見せたい順番にそれぞれのファイルをカンマ区切りで列記してください。

例

movie=no01.flv,no02.flv,no03.flv . . .

image=no01.jpg,no02.jpg,no03.jpg . . .



B) 再生してみる。

Index.html をブラウザで開くことで自身のコンピュータの環境下で再生することができます。再生の順番に間違いがないか確認してください。

C) Web にアップロードする。

現在ご利用のアップローダーで msp をフォルダごとアップロードします。アップロードが完了したら [http://\(www.\)ドメイン\(/任意\)/msp/index.html](http://(www.)ドメイン(/任意)/msp/index.html) にアクセスしてみましょう。

以上でコンテンツが完成します。

6. ヒント

以下はコンテンツ作成のためのヒント集です。紹介しているソフトウェアについての詳しい利用方法などは Web で調べてください。

*取り上げているソフトウェアはすべて 2008 年 1 月に存在しているものです。

A) ビデオカメラ、デジタルカメラを持っていないのでビデオの撮影ができません。

携帯電話で撮影してみてもいい？（サンプルコンテンツのヤマモリの動画は携帯で撮影したものです。）

B) Microsoft PowerPoint を持っていません。

スライドは最終的に jpg 形式になるのであればどのようなものを使っても問題ありません。また、PowerPoint と同等のものを利用したいのであれば無償の Office ソフトである「OpenOffice」の「OpenOffice Impress」を利用してみてもいいでしょう。PowerPoint と同様に Jpeg 形式でエクスポートする機能も備えています。

C) スライドは写真でもよいですか？

はい。デジカメで撮影した写真を表示していただいても構いません。紙に書いてスキャンしたものも表示できます。

D) 動画、スライドのサイズはどのくらいがよいでしょうか？

見た目の大きさであればビデオ・スライド共に表示時は必ず msp 内のビデオ・スライドウィンドウのサイズまで拡大もしくは縮小されます。データサイズであれば msp は長時間再生用のコンテンツ作成には向いていないため、適度に小さく、短くであることをおすすめします。また、msp は、どのような縦横の比率で撮影した動画でも全て横:縦=4:3 で表示します。スライド用の画像はどのような縦横の比率のものでその比率を維持したまま表示できます。

E) FLV って何ですか？

FLV は Flash 独自のビデオ形式で Youtube やニコニコ動画の動画もこれにあたります。

F) どうやって動画を FLV にすればいいの？

FLV コンバーターなどを利用してください。フリーであれば「Riva FLV Encoder」やオンラインのファイル変換サービス「Zamzar」を利用する、または Youtube に一度動画をアップロードして変換後にダウンロードするという手もあります。有償のものであれば「TMPGEnc Xpress4.0」などを利用すると変換できます。またもし Flash8 以降のインストールされている環境を利用できるのであれば「Flash Video Encoder」

を利用することをおすすめします。

G) 撮影した動画を編集するには？

Windows であれば標準で付いている「ムービーメーカー」などを利用することで簡単な編集であればお金をかけずに行うことができます。少しスペックのあるコンピュータをご利用であれば「Adobe Premiere Elements」などを購入されてもよいかもしれません。

H) デジタルカメラで撮影した動画を編集ソフトウェアが受け付けません。

ソフトウェアにより対応している動画形式が限られていることも多々あります。「QTConverter」などの動画形式の相互変換ソフトウェアを使って動画形式を変換しましょう。Windows をご利用であれば avi に変換すればおよそその編集ソフトウェアで読み込めるようになります。また「QTConverter」はコンポーネントを追加することで FLV への変換も可能です。

I) Web へのアップロードって？

misp で作成したコンテンツは index.html からご自身の環境でも再生できますが、Web 上に公開することでインターネットにつながっていれば誰でもどこからでも再生できるようになります。「FFFTP」や「WinSCP」「Filezilla」などの転送ソフトを利用し、所属している機関や有料・無料のレンタル Web スペースにアップロードしましょう。

7.連絡先

作者の連絡先は次のメールアドレスになります。
ご意見・ご質問等ありましたらお気軽にどうぞ。

メールアドレス：ytkm0414@gmail.com